

第23回 熊野灘の漁業を考える
里海と共生する海女漁業の再興を考える

共 催：水産海洋学会，熊野灘漁業を考える会，志摩市，鳥羽市，三重県水産研究所

日 時：2014年2月22日（土）13:00～17:30

場 所：志摩市役所4階401会議室（志摩市阿児町鶴方3098-22 電話0599-44-0001）

コンピーナー：伊藤宣毅（考える会），山田浩且（三重水研），津本欣吾（三重農水），
山川 卓（東大院農），松田浩一（三重水研）

総合司会：奥村宏征（三重水研） 13:00－13:15

挨拶：和田時夫（水産海洋学会長），大口秀和（志摩市長），伊藤宣毅（考える会代表）

趣旨説明：遠藤晃平（三重水研）

【基調講演】

海女の操業実態と健康管理 山川 紘（海洋大） 13:15－14:00

【話題提供】

座長 山田浩且（三重水研），水口忠久（考える会）

1. 海女漁業の対象魚種の漁獲状況 松田浩一（三重水研） 14:00－14:30

2. 海藻等の新たな漁獲利用 竹内泰介（三重水研） 14:30－15:00

－ 休 憩 － 15:00－15:10

座長 渡辺誠一（三重伊勢農水），平山 厚（考える会）

3. 海女漁業の販売戦略 常 清秀（三重大院生資） 15:10－15:40

4. 稼げる里海の創生を目指して 15:40－16:10

山本 純・浦中秀人（志摩市農林水産部）

【総合討論】 16:10－17:20

座長 山川 卓（東大院農）

5. 海女漁業の再興のために必要な取組について

依頼討論 津本欣吾（三重農水）

現場から海女漁業者の声（志摩市・鳥羽市各1名）

6. まとめと閉会 栗藤和治（考える会） 17:20－17:30

開催趣旨：熊野灘沿岸をはじめ，日本各地の沿岸海域での漁獲量が減少しはじめて久しい．永き将来にわたって安定した漁獲を生み出す沿岸海域の再生・創造が急務であり，このため各地域では，干潟・藻場・浅場などの再生や造成事業が行われてきた．一方，陸地には里山，海には里海という概念が提案されており，そこでは人々の暮らし・生業と自然生態系が密接に関わりあいながら調和し，双方の持続可能な状態が保たれていくことが期待される．2004年の地域研究集会でも里海をテーマとして取り上げ，活発な議論を行った．今回の地域研究集会では，里海と共生する海女漁業を取り上げる．海女漁業は，アワビ，海藻等の生産を担うとともに，祭りの神事が海女によって執り行われるなど漁村文化の形成にも重要な役割を果たしているが，対象資源の減少や新規参入の減少等により危機的な状況にある．このため，従来よりも効果的な新たな生産・販売方式を海女漁業に導入することで収益性や操業の効率性を向上させ，海女漁業を持続可能な漁業へと変革させることが急務である．そこで本地域研究集会では，海女漁業を支援・維持するために有効な取り組みを議論し，新たな展開に繋げることを目的とする．